

## 青少年国際平和未来会議 広島アピール 2019

親愛なる読者のみなさま

私たちは広島が開催する青少年国際平和未来会議ヒロシマ 2019 に参加し、この宣言を共に作りあげました。今年是世界中の 13 都市から 43 名の若者たちが集まり、8 月 5 日から 11 日までの期間、相互理解を深め、平和にかかわる問題を討議し、そして世界恒久平和に至る方法を考えました。

この 7 日間を通して、私たちは国境を越えてつながり、友となり、意見を交換し、対話の文化を作り上げたことで、私たちは国際政治や社会問題について、自らの関心を喚起することができました。

私たち青少年国際平和未来会議の参加者は、安心できる将来を手に入れられるようにと、若者たちがみな、周囲の人々から大学に入り卒業するようという強いプレッシャーを受けていることに気が付きました。さらに、若者たちは、社会が高齢化していることから、高齢者をささえるためにより熱心に働きよい仕事に就くよう、推奨されています。

このような人口統計上の変化に向き合う一方で、若者たちは環境の変化にもこれまで以上に注意を向ける必要があります。なぜならば若者たちは、現在の選択の結果を引き受けなければならない次世代だからです。しかしながら、これらの課題は若者たちが直面する政治的な困難の一部にすぎません。核兵器のような大量破壊兵器の存在もまた、重要な課題であり、核兵器の廃絶はすべての世代の望みです。

環境問題は多くの国々において共通の問題です。地球温暖化、汚染、資源不足そして教育の不十分さは、重要な問題であると私たちは考えます。状況を改善するための方策に私たち自身が取り組む必要があります。私たちは、環境にやさしくあり、削減・再利用・再資源化に取り組み、若い世代の関心を喚起するために教育的なプログラムやソーシャルメディアを活用すべきです。さらには、私たちは森林破壊を止め、天然資源を再利用すべきです。

次に、発展途上にある地域では、高い出生率によって、人口が急激に増加しています。しかしながら、ほとんどの先進国は出生率の低下や高齢化に直面しています。政治の問題も、世界平和に影響を与えます。戦争、人権や市民的権利に対する侵害が、そこから引き起こされます。私たちは不正や汚職を促すような、能力がなく不適切な指導者がいることは問題だと考えています。その結果として、人々が利益やニーズそして機会を十分に手に入れることができません。平和に関する効果的かつ十分なリーダーシップを発揮することについて、将来の国の担い手として若者た

ちを教育することや、若い世代に対して平和教育を行うことは、とても必要なことです。さらに私たちは、すべての人々にとってよりよい世界を作るために、若い世代と大人たちがともに取り組まなければならないとも考えます。

私たち若者はこの世界のなかで成長しており、長い時間をかけて引き継がれてきた問題を、私たちが変化させる可能性は限られています。私たちが世界平和を希求する以上は、私たちの目指すゴールへの道をなだらかなものとするべく、急進主義やヘイトに満ちたイデオロギーを排除するために私たちは自身や他者を教育しなければなりません。したがって、私たちは、前に向かって自発的に次のことに取り組みます。平和に関するプロジェクトに参加し、ソーシャルメディアを用いて平和のためのネットワークを組織し、そして平和に関するプログラムに参加します。これらはすべて、私たちの持つ多様な文化への相互理解をもたらし、世界平和を達成する道とともに作り上げるためのものです。私たちは世界の若者たちに問いかけます。「あなたたち自身から始めよう。IYCPFに参加し、世界の平和を追い求めよう。あなたたちが世界を変えなければ、誰が変えるのでしょうか？」と。

今後開催される会議がこのたびのものよりもさらに良いものになるために、私たちは IYCPF にネットワークを拡大し、世界からより多くの人々を招き仲間を集めることを求めます。そのために、私たちは、これまでに会議に参加した人々が、今後参加する人々とも考えを共有し続けることができ、そして未来の若者たちのために平和な世界を作り出すプロセスの流れを止めることがないように、持続可能で継続的なネットワークを必要としています。新しい参加者が私たちの精神やアイデアを引き継ぎ、平和に関するお互いの考えを活性化しかつ促進し、世界の中で実行に移すことができるように、私たちは次に続く参加者に対して、前の年に示された考えを実行に移すことを期待します。

この数日間に私たちが集まり経験したことやその結果から、私たちの若者としての使命は、世界をより平和で住みやすいものへとするために、環境問題、社会・政治および教育の不十分さと戦う、多様な文化をつなぐネットワークを作り上げることであるのは明らかです。

私たち参加者は、それぞれの母国に戻ったのちもこれらの目標を忘れることはありません。私たちの目的につながるプログラムに参加することで行動を起こす準備を整え、そして、それにつながる目標に向かうように他の人々を励まし、動機づけし、鼓舞し、そして開かれた心を保ち続けるために、私たちが出会った人々と連絡を取り合い続けることが必要であるとは明らかです。そのようにすることで、私たち自身の経験を広げ、私たちと同世代の他の人々を励まし、私たちが平和な世界を創造できると確信します。

2019年8月11日